



議会だより



市立油津小学校、運動会のようす

去る、10月2日に行われた市立油津小学校の運動会での1コマです。大玉転がしの競技です！

主な内容

- ◆第6回定例会を開催……………2ページ
- ◆より市民に身近な議会を目指して……4ページ
- ◆市政を問う、一般質問……………6ページ

《発行者》

宮崎県日南市議会 平成23年11月1日発行
〒887-8585 日南市中央通一丁目1-1
電話：0987-31-1142（直通）
FAX：0987-31-1778（直通）

第6回定例会を開催

議員定数条例を可決!

～次回の選挙からの議員定数は**22**人に～

平成23年第6回定例会は、平成23年9月12日から10月3日の22日間開催されました。

冒頭、議長より今回の市議会議員の飲酒運転摘発事案について、市民の皆様へのおわびがあり開会しました。(詳細につきましては、9月15日発行の議会だより臨時号をご覧ください。)

市長提出議案及び議員提出議案あわせて45件を審議しました。(審議結果につきましては、5ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

今回、日南市議会議員定数条例が議員提出議案として提出され、次回の選挙後から定数を22人とする議員定数条例を可決しました。

報告

■平成22年度日南市健全化判断比率の報告について

平成22年度の日南市健全化判断比率について報告がありました。(健全化判断比率につきましては、下段に掲載しております。)

■平成22年度日南市公営企業資金不足比率の報告について

平成22年度の日南市公営企業における資金不足比率については、いずれの公営企業会計においても資金不足は生じていないため、ありませんでした。

健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	15.7%	135.0%
(参考)				
早期健全化基準	12.66%	17.66%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	35.00%	35.00%	

※実質赤字比率の「—」は、実質赤字額がないことを示しています。また、連結実質赤字比率の「—」は、連結実質赤字額がないことを示しています。

条例

■日南市議会議員定数条例

日南市議会議員の定数を次回の一般選挙から22人とする条例です。以下、本条例の提案理由(一部抜粋)を掲載いたします。

【提案理由】

本案については、定数30人を8人減員して22人に改める日南市議会議員定数条例を新たに制定するものがあります。

今春、議員定数30人で行われた、選挙において選ばれた議員の会派代

表7人で構成する「議会改革調査特別委員会」が6月30日に設置されました。

本特別委員会は、これまで類似都市との比較、検証を行いながら、検討を加えてきたところであります。

また、市内各種団体の代表27名の皆さんと約2時間半という短い時間ではありますが、意見交換会を行うなど精力的に活動を行ってまいりました。

交換会における意見の主なものとして、「厳しい財政状況を考慮すると、議員数は削減すべきである」との意見が多数を占めておりましたが、中には、「まだスタートしたが、中には、30人やってみて、状況を見極めながら慎重に対応したらどうか」との意見があったのも事実であります。

さらに、本特別委員会は議員定数を削減した九州管内の3自治体に向き、その背景や影響について視察いたしました。その中で、定数削減の主な理由としては、どの自治体も厳しい財政状況が背景にあるようであり、削減したことに伴う影響については、周辺部の少数意見が反映されるように、削減後の議員でカバーしていくしかなく、議員の質が問われることになる。との説明を受けたところであります。

(中略)

民主主義の根幹にも関わる議員定数の削減は、合併して間もない日南市の状況を考えたとき、本市にマッチした適正な定数が望ましいと思えます。

可能な限り急激な定数削減を避けながら、議員自らが他に先立って行財政改革の範を示さなければならぬ時期に至っているものと判断し、類似都市との比較はもちろんのこと、本市の人口や総面積、可住地面積、産業構造など総合的に判断しまして、今回の議員定数「22人」を提案するものであります。

■日南市オラレまちづくり基金条例
場外発売場の設置に伴い、その売り上げにかかる収入金を適正に管理運用し、地域の活性化および振興を図るとともに、市の活力あるまちづくりに資するために制定するものです。

■日南市暴力団排除条例
日南市からの暴力団排除に関する基本理念を定め、市、市民および事業者の責務を明らかにし、暴力団排除に関する施策等を定めることにより、暴力団排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するため制定するものです。

補正予算の概要

一般会計補正予算の補正額は、5億9800万円で、補正後の予算総額は、262億1500万円となります。

補正の主な内容は、市民の生命を守るための津波対策に関する経費や、

教育環境向上のための学校施設整備に関する経費のほか子育て支援等の経費について計上されております。

■場外発売場運営事業
〔837万6千円〕
福岡県芦屋町からの事務協力費および施設使用料により、場外発売場「オラレ日南」の運営を行うとともに、「事務協力費残金を「オラレまちづくり基金」へ積み立てるものです。

■電子計算管理費・住民基本台帳ネットワーク事業
〔2656万7千円〕
外国人住民を住民基本台帳の適用対象とされたことを受けて、24年度の法施行へ向けた電算システムの改修を行うものです。
また、軽自動車税申告書データ導入に伴うシステム改修を行います。

■にちなん鉄肥杉モデル住宅づくり事業
〔1435万円〕
地元産材である鉄肥杉を活用した戸建て住宅の良さを市民に広く理解してもらい、鉄肥杉材の利用促進につなげていくことを目的とし、モデル住宅の建設等に対し、助成を行うものです。

■津波対策緊急整備事業
〔1億508万7千円〕
市内沿岸部の海抜調査を行い、避難誘導等の標識を設置するとともに、避難路の手すり、階段を整備するものです。また、防災行政無線の音達範囲調査を行う費用も計上しております。



標高測定機器



機器を使った標高測定のようす

■保育所緊急整備事業
〔1474万8千円〕
子どもを安心して育てることができる環境を整備するため、保育所施設整備に要する費用の一部を助成するものです。

■旧北郷中学校等跡地利用対策事業
〔1億1千万円〕
旧北郷中学校等の跡地を利活用するため、本校舎、体育館等の学校施設および隣接する旧町立体育館を解体し、多目的運動広場建設のための実施設計を行うものです。



解体予定の旧北郷中学校校舎

■小・中学校施設整備事業
〔4365万円〕
児童生徒の安全対策と学習環境の向上を図るため、学校施設の改修工事等を行うものです。
【内容】
小学校3校の屋根防水工事およびプール塗装工事等、中学校6校の屋根防水工事および設計業務委託等となっております。

■認定こども園整備事業
〔6196万円〕
保育環境を改善するため、施設を増改築する幼稚園型認定こども園に対し、助成を行うものです。

委員会審査から

議案に付言された要望

■平成23年度日南市一般会計補正予算(第2号)「予算審査特別委員会」

【要望事項】

- ・公共用地内に民地が存在しているケースがあるが、その取り扱いについて、今後、調査を行い適切な対応をされたい。
- ・屋外防災無線については、今回実施される音達範囲調査終了後、速やかに整備されたい。
- ・課税の公平性の観点から、未評価家屋については、早急に調査のうえ対処されたい。
- ・分収造林事業延納対策基金の取り扱いについて、基金への積み戻しに關し、歳出予算として926万2千円が計上されているが、本来であれば収入を受けた年度内に処理すべきところを、事務の不手際により年度を越して処理される事案であり、今後このようなことが無いように適正な事務処理をされたい。

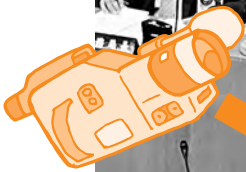
決算審査特別委員会

決算審査特別委員会に付託を受けました、決算認定13件につきまして、閉会中の継続審査となりました。決算審査特別委員会は10月25日から28日の日程で審査を行う予定です。審査結果等については次号の議会だよりで行います。

特集 より市民に身近な 議会を目指して

今まで以上に議会を身近に感じて欲しい。市民の皆様が開かれた議会づくりを行っていくため、9月定例会から議会放映システムを導入しました。

議会放映システムは、平成23年度の事業で、総事業費約2300万円をかけ、老朽化した音響設備の更新や議会のようすを外部へ配信するための整備が行われました。



議会放映用のモニターは議場内のほか、市役所本庁総合窓口前、ふれあい健やかセンターロビーなどに設置しており、市民の皆様が気軽に議会開会中のようすをご覧いただけるようになっております。また、今後はご家庭のインターネット環境を利用して、議会のようすをご覧いただけるよう、インターネット放映に向けて準備を進めております。(インターネット放映については、12ページのトピックスをご覧ください。)

その他にも、市議会ホームページでは、会議録検索システムや議長交際費の使途、議会日程などを公開しております。

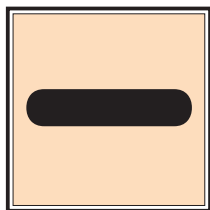


審議結果一覧

平成23年第6回の定例会（H23.9.12～H23.10.3）の審議結果

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報告第12号	平成22年度日南市健全化判断比率の報告について	—	終了
報告第13号	平成22年度日南市公営企業資金不足比率の報告について	—	終了
認定第1号	平成22年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第2号	平成22年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第3号	平成22年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第4号	平成22年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第5号	平成22年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第6号	平成22年度日南市病院事業会計決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第7号	平成22年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第8号	平成22年度日南市大島簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第9号	平成22年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第10号	平成22年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第11号	平成22年度日南市公共下水道事業決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第12号	平成22年度日南市特定環境保全公共下水道事業決算の認定について	継続審査	継続審査
認定第13号	平成22年度日南市水道事業決算の認定について	継続審査	継続審査
議案第55号	平成23年度日南市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議案第56号	平成23年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議案第57号	平成23年度日南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第58号	日南市オラレまちづくり基金条例	原案可決	原案可決
議案第59号	辺地に係る総合整備計画の策定について	原案可決	原案可決
議案第60号	日南市税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第61号	日南市立学校林等基金条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第62号	日南市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第63号	日南市暴力団排除条例	原案可決	原案可決
議員提出議案第4号	小玉弘明議員に対する辞職勧告決議	—	原案可決
議員提出議案第5号	飲酒運転撲滅を宣言する決議	—	原案可決
議員提出議案第6号	日南市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	原案可決
議員提出議案第7号	日南市議会議員定数条例	原案可決	原案可決
議員提出議案第8号	漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する意見書	原案可決	原案可決
議員提出議案第9号	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書	原案可決	原案可決
議員提出議案第10号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める意見書	原案可決	原案可決
議員提出議案第11号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書	原案可決	原案可決
議員提出議案第12号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	原案可決	原案可決
議案第64号	日南市特別用途地区建築条例	原案可決	原案可決
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（福田紀行氏）	原案同意	原案同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（山田哲雄氏）	原案同意	原案同意
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（郷谷須磨子氏）	原案同意	原案同意
諮問第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（中津峰子氏）	原案同意	原案同意
陳情第2号	日南市議会議員の定数削減を求める陳情書	採 択	採 択
陳情第3号	日南市議会の改革を求める陳情書	採 択	採 択
陳情第4号	教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第5号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める陳情書	採 択	採 択
請願第6号	郵政改革法案の早期成立に関する請願書	採 択	採 択
請願第7号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願書	採 択	採 択
陳情第8号	日南市の小中学校におけるむし歯予防のためのフッ化物洗口の実施に関する陳情書	継続審査	継続審査

市政を問う!



一 般

質 問

質 問

平成23年第6回定例会における「市政に対する一般質問」は、9月20日から26日までの4日間行われ、19人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

なお、今回の一般質問では一般質問に先立ち、小玉議員の飲酒運転摘発事案に対する所感を述べる議員もいました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ①井 福 秀 子 議員 [防災対策について、交通安全対策について、すべての人に優しい生活道路や公共施設の整備について]
- ②和 足 恭 輔 議員 [空き家対策について、脳脊髄液減少症について]
- ③濱 中 武 紀 議員 [防災計画の見直しについて、職員の地域担当者制度について、市の人口計画について、ふるさと納税について、市税及び各使用料の徴収体制の現状と課題について、国道及び市道の整備について]
- ④田 中 重 信 議員 [行財政改革について、生活環境対策について]
- ⑤細 田 勝 議員 [行財政改革について、「橋の日」について、花峯橋について、林業振興について、高齢化社会対応について、ごみ処理対策について]
- ⑥深 川 保 典 議員 [副市長一人制へ、消防本部移転計画の見直しを、中心市街地活性化基本計画の認定のめどは、「新しい公共」への取り組みを活性化させるとき]
- ⑦谷 口 慎 二 議員 [景気対策について、教育行政について、インターネットについて、防災について、健康増進にむけて]
- ⑧川 越 昇 議員 [組織機構の見直しについて、職員の人事異動について、まちづくりについて、子ども議会について、日南あいさつプラス運動について]
- ⑨安 竹 博 議員 [口蹄疫復興支援対策について、子育て支援について、振興策について]
- ⑩福 岡 浩 一 議員 [産業の振興策について、交通事故防止対策について、にぎわいづくりについて、スポーツ振興について、文化財保護について]
- ⑪甲 斐 登 議員 [防災政策について、旧振徳商業高校跡地の利活用について、農業政策について、市民・市の活性化政策について、学校における予防医療について、市長の政治を問う]
- ⑫松 本 弘 議員 [地域防災について、環境対策について、観光行政について]
- ⑬磯 江 純 一 議員 [市民の暮らし向きについて、地域対策について、環境基本計画について、浄化槽の水質検査について]
- ⑭井 上 進 議員 [医師不足対応策について、交流人口拡大策について、健康施設の整備について、防災対策について]
- ⑮坂 元 啓 一 議員 [「放射性物質汚染がれき」の処分問題に関して、消防本部庁舎移転問題に関して、円高問題に関して、市庁舎の新設に関して、日南市組織機構の見直しに関して、ポーツマス市訪問団の行程等に関して、防災ラジオに関して、武道必修化に関して]
- ⑯川 口 和 也 議員 [高齢者施策について、中部病院の課題について、公契約条例の制定について、障害者差別禁止条例の制定について、中山間地の少子・高齢化対策について]
- ⑰岩 永 憲 明 議員 [東日本大震災について、食の安全について、退職教員の実態について、有害鳥獣対策について]
- ⑱黒 部 俊 泰 議員 [防災について、市の定員管理の関係と市民への情報公開について]
- ⑲鈴 木 教 夫 議員 [消防庁舎等整備計画について、組織機構の見直しと総合支所について]



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

地震津波対策の見直しについて

(問) 防災行政無線を新たに設置するなどして、放送がよく聞こえるような見直し調整は進んだか。

(答) 音の届く範囲等を調査し、その結果をもとに基準を設け、調整と整備をしていく。

(問) 避難所の見直しは進んだか。

(答) 緊急避難場所を44カ所から67カ所に変更し、緊急避難ビルを新たに7カ所指定し、46カ所を緊急避難路として位置付けた。

人に優しい生活道路や公共施設の整備について

(問) 吾田東小近くの民家の垣根が市道にはみ出し危険である。対策を急ぐべきだ。

(答) 数回にわたりお願いしてきたが、住居者から前向きな回答をいただいた。

(問) 吾田東11丁目の道路の側溝蓋整備はいつできるのか。

(答) 本年度は排水系統の調査を実施し、来年度は側溝整備の詳細設計の後、平成25年度から年次的に工事を行う。

(問) 児童公園の危険トイレの改修や公共施設の手すり、洋式トイレの増設など、弱者に優しい施設にできないか。

(答) 本年度から15カ所の児童公園トイレを整備し、洋式トイレ等は、必要に応じて改善をしていく。

空き家対策について

(問) 増加傾向にある市内の空き家の現状を把握できているか。

(答) 全域調査はしていないが、飼肥の重要伝統的建造物群保存地区内の空き家は47軒、油津の中心市街地区域内では、空き店舗を含め103軒となっている。水道閉栓数は、アパートや倉庫、畑等の閉栓もあり、直ちに空き家数とはならないが2427軒である。

(問) 空き家の発生原因をどう思うか。

(答) 少子高齢化が進む中、一戸建て住宅の高齢者世帯が施設に入所したり、居住者が亡くなり、相続者が市外に居住するケースなどが考えられる。

(問) 市内の今後の空き家数をどう見通しているか。

(答) 人口減少や少子高齢化が進むと更に空き家の増加が危惧される。

(問) 一昨年、老朽化した空き家が、倒壊し、市道が一時通行止めになった事例が発生している。現在、各地で空き家の適正管理を促す条例制定の動きがある。本市でも、空き家適正管理のための検討委員会を立ち上げて、条例を制定すべきと考えるがどうか。

(答) 現段階では考えていないが、今後、移住、定住及び、防災等を含めた総合的な観点から、検討委員会の設置を含めて研究してみたい。



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員



改政クラブ
濱中 武紀 議員

防災計画の見直しについて

(問) 見直し計画の進捗及び今後の整備計画はどうなっているのか。

(答) 津波の高さは10メートル以上を見直しの基本とし、避難場所の見直しや緊急避難ビルの指定を行い、避難道の整備や防災無線の拡充を行う予定である。

(問) 避難場所の夜間対策として、太陽光発電の電灯整備は考えてないか。

(答) 太陽光発電による電灯整備は、今後、農作物等への影響を含め、検討する。

(問) 現在までの状況と今後の課題は何か。

(答) 道路や河川の相談、補助事業の書類の作成、水道管の漏水などの相談等が多く、迅速に対応している。今後、も担当者のスキルアップに努め、制度の充実を図りたいと考えている。

(問) 市道の整備について

(答) 市道富士郷之原線の整備の考えはないか。

(答) 抜本的な改修は、多額の費用がかかるため、市単独での整備は困難な状況であるため、今後も、県道昇格の要望を継続するとともに、改良ルート

の選定について検討する。



改政クラブ
田中 重信 議員

飲酒運転は社会的犯罪である。日南市および議会に多大の迷惑をかけた小玉議員は、直ちに議員辞職せよ。
行財政改革について

(問) 懲戒処分を見直す考えはないか。

(答) 平成18年の人事院指針より厳しい内容だが、必要に応じさらに見直す。

(問) 繰り返し提言してきたが、外部評価制度を導入する考えはないか。

(答) 来年度から導入する予定だ。

(問) 市民参加の事業仕分けについてはどうか。

(答) 外部評価の中で実施できないか検討中である。

(問) 保育料未納の対策はどうか。

(答) 平成22年度末で6千500万円となっている。さらに対策を強化し、子ども手当充当についても検討する。

(問) 給食費滞納についてはどうか。

(答) 平成22年度途中で200万円の滞納となっており、長期滞納者に対し支払い督促の法的措置に着手した。

(問) 行政の肥大化の一因である団体事務の改善はどうなっているか。

(答) 市の関与する外郭団体や各種協議会は約100団体ある。市政創造計画の中で、民間移行を含め見直すのか。

(問) 医師の確保に努め、平成25年度の経常収支黒字化を目指す。



改政クラブ
細田 勝 議員

行財政改革について

(問) 経常収支比率を引き下げするために、どのような方策を講じるのか。

(答) 総合計画に基づく計画的な事業実施により、安定的な自主財源を確保することで、財政基盤づくりに努める。

(問) 職員給与制度の見直しの進捗状況はどうか。

(答) 能力や勤務評価を給与へ反映させるため、新たな人事評価制度の導入を検討し、その準備作業を進めている。

(問) 民間活力導入の進捗状況はどうか。

(答) 行政のスリム化・効率化、市民との協働の観点から「民間にできることは民間に」という考えのもとで、民間活力導入の取り組みを進めている。

「橋の口」について

(問) 8月4日にイベントが開催されたが、次年度以降から支援できないか。

(答) 他市の状況を調査し研究する。

林業振興について

(問) 職業訓練校で試作された鉄肥杉製仮設住宅の普及を推進できないか。

(答) 現時点での普及は困難だが、今後調査研究していく。

高齢化社会対応について

(問) 高齢者にやさしい歩道整備を重点課題として取り組めないか。

(答) 関係機関と連携を図り推進する。

副市長一人制へ

(問) 合併後、行政はますます肥大化しており、日南市クラスの自治体では、一人で十分と考えるがどうか。

(答) 平成25年3月31日までは、現行の副市長2人制でいく。

振徳商跡地への消防本部移転計画の見直しについて

(問) 現計画が東日本大震災直前の2月に作成されたこと、選択肢が現在地と訓練場と振徳商跡地の三者しかなかったこと、計画プロセスが不透明であることなど欠陥が多い。見直しを求める。

(答) 周辺の橋りょうは阪神淡路大震災レベルの耐震性能を有している。

中心市街地活性化基本計画について

(問) 中心市街地活性化基本計画に対する内閣府によるヒアリングの結果はどうだったか。

(答) 内閣府からは、コンセプトのより明確な提示と、コンセプトと計画事業の関連性を明確な根拠をもって説明できるようにとの指摘を受けている。

「新しい公共」への取り組み促進を

(問) NPO法人「心の芽」のNPOなどの中間支援事業が県により採択された。市民活動センターの再開を求めると。

(答) 今後、サンライフ日南を同センターの候補の一つとして検討したい。



改政クラブ
深川 保典 議員



新生日南会
谷口 慎二 議員

景気対策について

(問) これまでの経済対策はなにか。

(答) 商品券の発行、リフォーム事業などを行ってきた。

教育行政について

(問) 小中一貫教育の、今後の計画はどうなっているか。

(答) 平成25年4月に東郷小中一貫教育校の開設を目指している。

インターネットについて

(問) 光ケーブルを、市が積極的に拡大へ向けて努力する考えはないか。

(答) 市としては考えていないが、民間通信事業者に対し要望していく。

(問) 防災について

(問) 避難後の対応はどうなのか。

(答) 避難所担当の職員が誘導する。

健康増進にむけて

(問) 一人当たりの医療費が、県内ワースト一位のなか、対応策はなにか。

(答) 医療費抑制事業を推進している。

(問) 体育・健康増進施設の、利用時間の延長はできないか。

(答) ニーズを調査し、検討する。

組織機構の見直しについて

(問) 実施時期と見直しについて、市長の具体的な考えはどうか。

(答) 来年度から新たな組織体制で行政運営し、課・係の統廃合や、本庁と総合支所のあり方等を中心に策定した。

(問) 見直し後の職員予定数は何人か。

(答) 744人の予定である。

(問) 合併10年後の職員予定数は何人になるのか。

(答) 617人が目標である。

(問) 日向市の職員数は何人か。

(答) 平成23年4月1日現在で、592人と伺っている。

まちづくりについて

(問) 市長と語るまちづくり座談会の開催について、市長の考え方はどうか。

(答) 本年度は、防災をテーマに実施できないか検討している。

子ども議会について

(問) 出された意見や提案は、市政へ生かされたと考えているのか。

(答) 市として真摯に受け止め、「未来へつづく日南市づくり」へ生かしていきたいと考えている。

日南市あいさつプラス運動について

(問) 今後の対応をどうするのか。

(答) 学校・家庭・地域への周知を図り、「好きです！あいさつ日本一のまち・日南」を目指していきたい。



新生日南会
川越 昇 議員



新生日南会

安竹 博 議員

口蹄疫復興支援対策について

(問) 口蹄疫発生期間中の人工授精業務停止による影響は、どれだけあると考えるか。

(答) 昨年の4月23日から7月15日までの約3カ月間で、対象となった畜産農家戸数は143戸、対象牛79頭となっており、今後畜産経営に多大な影響を及ぼすと大変危惧している。

(問) 復興支援対策をどう考えているか。

(答) 県において飼養管理経費として約1千万円の支援策を実施しているが、今後は国・県の支援動向をふまえて検討していく。

子育て支援について

(問) 県が推進する子育て支援策との連携で主なものはどんな支援があるか。

(答) 子ども手当、放課後児童クラブ、認定こども園などがある。

振興策について

(問) 政策観光をどう考えているか。

(答) 市役所などに視察のために訪れるビジネス客を、ターゲットとする新観光政策であり様々な取組みをしたい。

産業の振興について

(問) 免税軽油制度廃止が来年3月末に迫り、基幹産業である農林水産業への悪影響が予想されるが市長の考えはどうか。

(答) 免税制度が廃止になると経費に占める燃料費の割合が大きく経営に悪影響を及ぼす。県内各市と連携をして国に対して免税措置の恒久化を要望する。

(問) 舢舨杉モデル住宅建設の具体的な内容を示せ。

(答) 来月にも舢舨杉モデル住宅建設協議会を設置し、オール日南での建設方法等を協議していく。

交通安全対策について

(問) 日高嶋工業団地前市道での交通事故が多発している。対応策をどう考えているか。

(答) スピードの出し過ぎ等の原因で数年来、事故が多発している場所である。既に、減速マーキングの設置をしたが、今後道路拡幅を含めた見直しを検討していく。

文化財保護について

(問) 伊藤藩守永家出身の、徳川将軍家に仕えた高僧、嶺南和尚の墓石管理を市指定史跡とする考えはないか。

(答) 史跡指定へ向けて調査検討を進めて、郷土の偉人を称えたい。



緑青会

福岡 浩一 議員



緑青会

甲斐 登 議員

防災対策について

(問) 避難場所の見直しは適切か。

(答) 標高10m以上の高台や裏山等を基準に、さらに上の場所を追加した。

(問) 宮鶴橋が被災した際、避難のう回路が必要。整備する考えはないか。

(答) 今後、調査を行う。

(問) 市には、ゴムボートが2艇しかないが、増設する考えはないか。

(答) ゴムボートの増設を検討する。

振徳商業高等学校跡地の利用について

(問) 跡地は、広渡川と酒谷川に挟まれ消防署としては問題がある。美術館として活用する考えはないか。

(答) 計画通り防災の拠点とし、美術館については当面、まなびピアやハートフルセンターを活用していく。

農業政策について

(問) 畜産農家救済対策はないか。

(答) 国・県の対策を注視していく。

学校におけるフッ化物流口について

(問) 虫歯予防に有効という成果が出ているのになぜ使用に取り組まないか。

(答) 近隣市町の動向を見て研究する。

市長の政治姿勢を問う

(問) 市長は、均衡ある発展と言っているが現実とは間違ってはいないか。

(答) 合併の財政支援が32年度で終了するが、行政の効率化・スリム化によって将来の均衡ある発展につながる。

地域防災について

(問) 東日本大震災を初め多くの災害が各地で発生している。日南市でも津波災害などを警戒した対策が進められているが、山間部の集中豪雨やがけ崩れ、河川決壊に対して、市としてどのように状況を把握され、どのような対策を講じているのか。

(答) 都市部においては、浸水対策として台風等による浸水時には、本川からの逆流を防ぐため水門等の開閉操作を行っている。さらに、台風や集中豪雨による浸水被害を未然に防ぐため、未改修河川を含めて、河川改修の促進を県へ引き続き要望する。

観光行政について

(問) 北郷町温泉観光協会の統合、独自事業の継続へ模索があるが、日南市の観光が低迷している中、今後どのような方向を示すのか。

(答) 平成23年4月には、日南市観光協会と南郷町観光協会が統合され、平成24年度には、北郷町温泉観光協会との統合が予定されている。今は協会の業務内容を精査しながら、統合に向けた作業を進められている。今後、協会の統合により、更に協力を推進できるように関係課で、具体的な作業を進めていく。



緑青会

松本 弘 議員



緑青会
磯江 純一 議員

小玉議員に苦言申し上げます。あなたは議員辞職勧告にも動ぜず、反省の色もなく様々な理由を述べ抵抗されているが、孤獨な議場の中、会派にも所属できず、どこに議員として市政に参加し意見を述べ、住民の声を反映させることができるのですか。辞職をし、一生懸命努力され、再起を期すことが男の道ではないかと申し上げます。

市民の暮らしぶりについて

(問) 仕事がない、買わない、売れないという厳しい環境をどのように認識されているのか。

(答) 景気の下支えや雇用、就業機会の創出に取り組んでいるが、個人消費や生産活動をはじめ観光や雇用の面など、いまだに厳しい状況が続いていると認識している。

(問) 全国の生活保護世帯の急増が報じられているが、本市の状況は。

(答) 本年7月末時点では475世帯で637人となっており、平成21年3月末と比べ、保護世帯で82世帯、保護人員で141人増加するなど、ここ数年の伸び率が高くなっている。割合が高いのは高齢者の世帯となっているが、伸び率の最も高いのは、仕事を失った人、求職中の人などを含む「その他の世帯」となっており、本市の経済や雇用状況を反映したものと考えている。

医師不足対応策について

(問) 県立日南高等学校に、医師コース設置の要望をしないか。

(答) 有効な手段であり、県教育委員会や校長をはじめ関係機関や関係者と学科新設の意見を交換し要望する。

(問) 東九州自動車道完成時期までに住宅と教育の環境整備を図れないか。

(答) 中心市街地活性化基本計画において子育て支援センターを含めて行う。

(問) 日南農林高校跡地をキャンプ地として、利活用を県に要望しないか。

(答) 県と意見交換を行っていく。

健康施設の整備について

(問) 運動公園整備事業として県立日南振徳高校跡地利用の全体計画を示せ。

(答) 消防署の移転地として、またグラウンド等は、多目的な利活用と、芝生広場として整備の予定である。

(問) 小中学生のフッ化物洗口の取り組み状況はどのようになっているのか。

(答) 国の示す「フッ化物洗口マニュアル」に従い10月に公立保育所にて保護者説明会を実施し今年度中に導入の予定である。

防災対策について

(問) 防災マップ完成後に市民への説明はどうするのか。

(答) 津波浸水予想図をもとに、ハザードマップを作製し、市内全地区の自治会長会等を通じて説明する。



緑青会
井上 進 議員



無会派
坂元 啓一 議員

放射性物質汚染がれきりについて

(問) 放射性物質に汚染された「がれき」の廃棄物処理に関して、4月ごろに国から問い合わせがあったか。

(答) それについてはなかったが、災害廃棄物の処理についてはあった。けれども、処理能力がないと回答した。

(問) 今後、再び国から問い合わせがあった場合はどうするのか。

(答) 処理能力がないため、受け入れは困難と回答するつもりである。

消防本部庁舎移転について

(問) 旧日南振徳商業高校跡地の周囲にある4つの橋の耐震性、安全性に疑問の声があるが、どうか。

(答) 阪神・淡路大震災クラスの地震には、耐えられると思われる。

(問) 総合的に判断して、その跡地が最適と考えるが、市長の考えはどうか。

(答) 計画どおり、進めていきたい。

中学校の武道必修化について

(問) 来年度から実施される中学校の武道必修化について、本市では、どのような計画を持っているのか。

(答) 全10校中、柔道が8校、剣道が2校。指導時間数は、1年から3年まですべて年間12時間となっている。また、柔道着を個人購入する場合は、7千円程度の負担となる。なお、剣道については、すべて学校で準備している。

中部病院の課題について

(問) 中部病院が目指す医療の方向性は、どのようなものか。

(答) 住民の健康診断、健康相談から病気の治療、療養に至る地域医療に係る広い分野を担い、日南に多い高血圧症、糖尿病、循環器系、消化器系、呼吸器系疾病の医療と、県立日南病院の後方病院及び民間医療機関と連携し、特に回復期リハビリテーションを中心とした医療の提供を図りたい。

(問) 中部病院の医師確保の状況はどうか。

(答) 専門業者の紹介や県医療業務課、個人の紹介などにより3月以降も、東京、千葉、京都、鹿児島、県内の8人の医師と面談しており、2人の医師とは現在も交渉中である。

障害者差別禁止条例の制定について

(問) さいたま市の「誰もが共に暮らすための権利の擁護等に関する条例」と同様な、障害者差別禁止条例の制定に向けた取り組みを行う考えはないか。

(答) 国は、本年8月に施行された改正障害者基本法に続き、2025年には、障がいのある人に対する差別を禁止し、被害を受けた場合の救済を目的とする「障害者差別禁止法」の制定を目指しており、本市は、国の動向を注視しつつ、法律と条例の整合性を図りながら、条例制定の検討をしていく。



社民クラブ
川口 和也 議員



社民クラブ

岩永 憲明 議員

東日本大震災について

(問) 東北地方から日南市に避難されている方々に対してどのような支援がされているのか。

(答) 6世帯16人の方に市営住宅の最長1年間無償提供やガスコンロ、炊飯ジャー、冷蔵庫など家電製品の無償貸与を行っている。

(問) 日南市へ移住希望者を積極的に受け入れることはできないか。

(答) 希望される方は福島県民に限らず受け入れる。

食の安全について

(問) 牛肉の生食肉調査を県が実施したが、調査結果はどうだったか。

(答) 国の衛生基準を守っていない飲食店は、県内の82・01%、市内では生食肉を提供している飲食店は31店舗中25店舗で、保健所の直接指導により生食肉の取り扱いを中止している。

退職教員の現状について

(問) 現在、日南市において精神疾患で休職されている小中学校の教員は何人か。

(答) 2人が休職中である。

有害鳥獣対策について

(問) 益安、乙東地区で猪による農作物の被害が多いが、その対策はどうか。

(答) ボランティアの「有害鳥獣駆除班」に依頼している。

防災について

(問) 中部病院が避難ビルに指定された。具体的な避難方法を確認する計画はあるか。

(答) 病院敷地内までの避難訓練は、可能と考えるので、地域に働きかけていく。また病院内に、避難場所へ誘導する案内板を掲示する予定がある。

(問) 防災無線音声自動応答サービスは、防災無線が聞き取りにくい地域において、電話で放送内容を確認できるサービスだが、導入してはどうか。

(答) 大変有効なシステムであると考えられる。検討すべき課題もあるので、調査を行う。

(問) 災害時に自力では迅速な避難ができない高齢者等に対し、避難支援計画を策定しているが進捗状況はどうか。

(答) 市内で援護が必要な対象者は7千人。当市は要援護者名簿の作成はしていない。個別支援計画は94人が策定できた。

定員管理について

(問) 市職員数は、平成31年度までに、416人に削減。10年間で194人削減する計画だがどうか。

(答) 平成31年の人口は、5万8千人に増加すると予想。職員数は人口に引き当てるので、計画より多くなると考える。



公明党日南市議員

黒部 俊泰 議員



公明党日南市議員

鈴木 教夫 議員

消防庁舎等整備計画について

(問) 移転先として旧日南振徳商業高校跡地が最適であると判断されているが、酒谷川・広渡川に挟まれ、4つの橋りように囲まれており寸断される危険性が高い。東日本大震災における橋りょうなどの被害状況を検証したとき、安全性は確保できるのか。

(答) 日南土木事務所を確認したところ、緊急輸送道路である益安橋・東光寺橋、また、公園大橋・山瀬橋についてはいずれも最新の道路橋示方書に基づいて施工しており、阪神淡路大震災レベルの耐震性能を有しているとの回答であった。

(問) 旧校舎は利用できないのか。

(答) 消防庁舎として耐震強度不足のため、利用しないことにしている。

組織の見直しと総合支所について

(問) 総合支所としての機能が低下し、その周辺の活力が失われるとともに、更なる住民サービス低下につながるのではないか。

(答) 見直しとして、開発整備課の廃止、産業経済課の商工・観光業務と福祉保健課の保健師・栄養士の本庁集約化、教育委員会分室及び農業委員会分室の廃止などであるが、業務を本庁に集約することにより、業務連携が可能になり、質の高い行政サービスの提供につながっていくものと考えている。

インターネットで会議録の検索ができます

日南市議会では、会議録検索システムを導入しています。インターネットから手軽に会議録を閲覧できますので、ぜひご利用ください。

日南市議会

検索



してみてください。

※会議録の他に、議会日程や議員名簿なども掲載しています。

議会日誌

(7月から9月・抜粋)

- 7月5日 議会改革調査特別委員会
青森県八戸市議会が行政視察のため来訪
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 茨城県行方市議会が行政視察のため来訪
- 8日 地域振興対策調査特別委員会
- 12日 東九州自動車道鹿児島宮崎建設期成会・要望活動(東京、13日まで)
- 26日 議会改革調査特別委員会
- 8月10日 地域振興対策調査特別委員会
- 19日 油津港港湾機能充実要望活動(県庁)
- 22日 議会改革調査特別委員会
- 24日 子ども議会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 議会改革調査特別委員会視察
- 9月5日 議会運営委員会、全員協議会
- 7日 議会だより編集委員会
- 9日 議会改革調査特別委員会
- 12日 第6回定例会開会、議会だより編集委員会
議会改革調査特別委員会、議会運営委員会
- 13日 本会議(質疑)、全員協議会
予算審査特別委員会全体会議
決算審査特別委員会
- 20日 本会議(一般質問、～26日)
議会運営委員会
- 21日 議会改革調査特別委員会
- 22日 地域振興対策調査特別委員会
- 26日 全員協議会
- 27日 委員会審査
- 28日 議会改革調査特別委員会
- 29日 議会だより編集委員会
- 10月3日 第6回定例会閉会

トピックス

12月定例会から議会のインターネット放映がスタート

9月定例会から始まった庁舎内での議会放映。次回、12月定例会からはインターネット放映も開始する予定です。

インターネット放映では、定例会中のライブ放映のほか、録画放映も予定しております。

インターネット放映などを通して、これまで以上に開かれた議会を目指してまいります。



■第7回(12月)定例会の予定■

- 11月28日 開会
- 29日 本会議(質疑)
- 12月6日 本会議(一般質問、～9日まで)
- 12日 委員会審査(～14日まで)
- 16日 閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。

《編集後記》

小玉弘明議員が、8月に酒気帯び運転の容疑で現行犯摘発されました。

飲酒運転は社会的に絶対許されるものではありません。私たち議員は、社会人として、議員として、今まで以上に市民の皆様への負託に応えられるよう、努力をしなければなりません。

去る6月30日、議会に議会改革調査特別委員会が設置されました。先進自治体への視察、意見交換会等を行い、懸案とされてきました議員定数削減も10月3日に定数22人で可決され、次回的一般選挙から適用されることになりました。

これからは、議員個々のモラルと質が今以上に問われることとなります。

議会だより編集委員会は、市民の皆様へ正確な情報と、期待される多くの情報を提供できるように頑張ってまいります。

議会だより編集委員会

